

エコプロダクツ・エシカル展会場に出現!

フェアトレードショー

北海道でフェアトレードに取り組む約 20 の団体・ショップが集結して、チョコレート、コーヒー、紅茶、衣服、雑貨をはじめとしたフェアトレード商品のほか、国内外のオーガニック製品を展示販売します。6日には、同会場の特設ステージでパネル討論「フェアトレードで世界を変える」を開催します。合わせてお楽しみ下さい。

■パネル討論 「フェアトレードで世界を変える」

日時：2月6日（木）13：20～14：50

会場：エコプロダクツ・エシカル展 in 札幌 特設ステージ

ランチもエシカルで!

軽食コーナーも登場

自然食のお弁当や
ドーナツ、サンドイッチ、コーヒー、
汁物も販売します。

はじめよう! 参加しよう! グリーナーになろう!

greener Part 2
week
グリーナーウィーク 2013-2014

日本初

エコプロダクツ エシカル展 in 札幌

無料
申込み不要

日時：2月6日木・7日金 10:00～17:00

会場：ロイトン札幌 3F ロイトンホール

日本ではまだまだ馴染みのない言葉「エシカル」。倫理的、道徳的という意味で、近年ものづくりやサービスにおいてもこのエシカルな視点を重視しようとする動きが世界的に高まりつつあります。日本の企業や団体も、すでにエシカルを意識した取り組みを始めています。

エシカルは美しくしなやかに

エシカル ファッション ショー

6日14:50～・7日12:30～

会場：エコプロダクツ・エシカル展 in 札幌 特設ステージ

エシカルファッションは 2004 年からパリでエシカルファッションショーが毎年開かれているほか、ミラノ、NY など世界中で注目されています。オーガニック素材や天然素材、リサイクル、伝統的技術を使ったもの、フェアトレード、CSR という 6 つが、エシカルファッションのキーワードです。フェアトレードのニットブランド (SHOKAY) の日本代表の林民子氏が監修した北海道初のエシカルファッションショーにご期待ください。また、6日には、林民子さんをコーディネーターに迎えたパネル討論もあります。

フィリピン支援展示コーナー



昨年の台風 30 号で甚大な被害を受けたフィリピンの復興を支援しようと、フィリピン製の家具・雑貨などのインテリア製品を直輸入して販売します。フィリピン独特の伝統的な雑貨をお楽しみください。なお、収益金はすべて復興支援金として寄付します。

特設
ステージ

6日トークイベント

11:00～すずきもも (スローフード・フレンズ北海道 事務局長) 「美味しく・正しく・美しく」

12:00～阿部真久 (ワインクラスター北海道代表) 「時代は北海道ワイン」

7日プレゼンテーション

10:00～CFP オフセットポイント推進委員会「どんぐりポイント普及セミナー」—どんでんひるげよう! どんぐりポイントの輪—

日本初のエシカル 国際会議開催

2月6日(木)・7日(金)

ロイトン札幌 3F ロイトンホール

参加
無料

エシカル購入 国際シンポジウム in 札幌

2月6日(木)

9:30～18:00

日英同時通訳付

日本、欧米、国連、アジアの専門家を集め、エシカル（倫理的）購入について議論します。

●基調講演 I

「人間世の時代におけるエシカル購入について」

ノーベル化学賞受賞者ポール・クルツェン博士は、2000年に現在の地質年代名「完新世」を「人間世」に変えて、人類の惑星管理責任を明確にして持続可能発展に取り組むべきだと主張しました。このような認識のもとに持続可能な生産と消費、一つの地球のライフスタイル等が重要課題となっています。

山本 良一 (IGPN 名誉会長・東京大学名誉教授)

●基調講演 II

エシカル消費者の到来

日本ではまだ耳慣れない言葉でもある「エシカル購入」。しかし欧米では既に政府機関や大学などでエシカル購入が始まっています。その背景には何かあるのか？様々な観点から欧米や途上国の動向を紹介します。

●パネル討論 I

アジアにおけるエシカル購入市場の可能性

アジアでのエシカル消費の展望は？

日本、欧米、アジアの第一線で活躍する専門家がその可能性を語ります。

コーディネーター 中原 秀樹 (IGPN 会長・東京都市大学大学院教授)

●パネル討論 II

フェアトレードで世界を変える

フェアトレード（発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することを通じ、立場の弱い途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す運動）を通じて持続可能な開発の実現を考えます。

コーディネーター 渡辺 龍也 (東京経済大学 現代法学部教授)

●パネル討論 III

エシカルは美しくしなやかに

エシカルは、英語で「道徳、倫理上の」という意味。今、ファッションにおいても環境やチャリティー、産業復興、発展途上国への支援なども考えることが必要とされています。商品の製造の過程を知ること、心を豊かにしましょう。

コーディネーター 林 民子 (ダブルツリー株式会社 代表取締役)

●パネル討論 IV

企業における CSR 調達

企業に対する評価は、従来の売上、利益、規模等の経済的側面のみならず、環境や社会貢献等多面的な側面が対象となり始めています。日本を代表する企業の、多面的な取り組みをご紹介します。

発表団体：日立製作所／キャノン／イオン／サッポロビール

※ CSR: 企業の社会的責任

※各プログラムは変更になる場合があります。

IGPN (国際グリーン購入ネットワーク) 札幌フォーラム 2月7日(金)

日英同時通訳付

9:00～12:30

世界経済の中心地となったアジア太平洋地域では、持続可能な消費と生産の推進に対する重要性が国際社会で大きく認識されており、グリーン／サステナブル公共調達、そして環境ラベルの実施を推進する様々な国際的プロジェクトが始まっています。

●基調講演

アジア太平洋地域におけるGPP^{*1}/SPP^{*2}推進の国際プロジェクト

アジア太平洋地域のグリーンな社会・経済発展のため、国連などがどのようなイニシアティブで持続可能な消費と生産の課題に取り組んでいるかを紹介します。

ステファノス・フォティオウ

(国連環境計画 [UNEP] アジア・太平洋地域事務所上級地域調整官)

●プレゼンテーション

各国の GPP 現状と国際プロジェクトの影響

7カ国のグリーン公共調達の現状を紹介。

●パネル討論

世界的な SPP に関する動向を踏まえた アジアにおける取り組み

持続可能な消費と生産の取り組みには不可欠なグリーン購入。グリーン購入の先進国である日本が、今後アジア太平洋地域でどのような役割を担うべきかを議論します。

※ 1 GPP: グリーン公共調達

※ 2 SPP: 持続可能な公共調達

グリーン購入全国フォーラム in 札幌 環境でこそ儲ける

2月7日(金)

主催：グリーン購入ネットワーク (GPN)
共催：北海道グリーン購入ネットワーク

13:30～17:00

●基調講演

環境で儲けて地球を救う—世界を変えるのは 緑の需要から

小林 光 (慶應義塾大学大学院教授)

●パネルディスカッション

「環境でこそ儲ける」を具体的事例から考える

コーディネーター 平尾 雅彦 (GPN 会長・東京大学大学院教授)

●かわらばん井戸端会議 (ポスターセッション)

課題をどのように克服し成功に至ったか、参加者と話し合います。

※敬称略

さっぽろ Greener Week 運営協議会

さっぽろ MICE 推進委員会 (札幌市、公益財団法人札幌国際プラザ、一般社団法人日本旅行業協会北海道支部、札幌市内ホテル連絡協議会、NPO法人コンベンション札幌ネットワーク、札幌商工会議所、札幌コンベンションセンター)、日本コンベンション研究会、IGPN (国際グリーン購入ネットワーク)、グリーン購入ネットワーク (GPN)、公益財団法人北海道環境財団、一般社団法人北海道再生可能エネルギー振興機構、北海道グリーン購入ネットワーク

本事業は、札幌市さぽーとと基金の助成を受けて実施しています。